

■執筆者紹介

福田 耕治（ふくだこうじ）

早稲田大学政治経済学術院教授、博士（政治学）、早稲田大学 EU 研究所所長
グローバル・ガバナンス学会理事長、日本公共政策学会理事、日本 EU 学会理事、日本公益学会特別顧問、外務省政策評価アドバイザー、リーゼ賞（経済法学会）、政治研究櫻田会奨励賞を受賞
『グローバル・ガバナンス学Ⅱ－主体・地域・新領域』（共編著）法律文化社、2018年
『EU・欧州統合研究—Brexit 以後の欧州ガバナンス』（編著）成文堂、2016年
『EU の連帯とリスクガバナンス』（編著）成文堂、2016年
『国際行政学・新版—国際公益と国際公共政策』（単著）有斐閣、2012年
『EC 行政構造と政策過程』（単著）成文堂、1992年
『現代行政と国際化—国際行政学への序説』（単著）成文堂、1990年
Policy Change under New Democratic Capitalism, (共著) Routledge, 2018
The Dynamics of Policy Innovation and Paradigmatic Change, (共著) Edward Elgar, 2014
Envisioning Reform: Enhancing UN Accountability in the Twenty-first Century, (共著) UNU Press, 2009

坂根 徹（さかねとおる）

法政大学法学部教授、博士（法学）
日本行政学会理事
東京大学法学部・同大学院法学政治学研究科、日本学術振興会特別研究員（DC1・PD）、愛媛大学法文学部を経て現職
『変容する国際社会と国連』（国連研究第20号）（共著）国際書院、2019年
『入門 国際機構』（共著）法律文化社、2016年
『国際機構論』（共著）ミネルヴァ書房、2013年
『日本と国連—多角的視点からの再考』（国連研究第13号）（共著）国際書院、2012年
『人類の道しるべとしての国際法—平和、自由、繁栄をめざして』（横田洋三先生古稀記念論文集）（共著）国際書院、2011年
『国連研究の課題と展望』（国連研究第10号）（共著）国際書院、2009年
『国連システムと調達行政』（東京大学行政学研究会研究叢書1）（単著）、東京大学21世紀 COE プログラム「先進国における《政策システム》の創出」、2005年
International Handbook of Public Procurement, (共著) Taylor & Francis, 2008